

水・大気環境局水環境課
地下水・地盤環境室

1. 事業の概要

水環境は、都市域、郊外それぞれの場において地域住民の生活と密接な関係を築き、良好に保たれてきた。しかし、近年の生活様式の変化や、水利用状況の変化等のため、それぞれの地域で水質等の水環境の悪化が課題となってきた。一方で、一度汚濁が進んだ河川等の再生を目指す地域住民の水環境保全活動を実施する地域や、先進的な水環境保全活動により良好な水環境を保全している地域が着目されている。水環境の再生のためには、住民参加型の保全活動を展開していく必要がある。

都市域の水辺空間は、季節のうつろいを感じる観光地としてのシンボルであるとともに、地域住民に地域の憩いの場、散策の場として利用され、景観や水辺の快適性を構成する重要な役割を担っているが、近年、水質悪化が課題となってきた。これら都市域の水辺空間について、水環境の再生や住民参加による水環境保全取組事例について調査を行い、水環境再生のためのガイドライン作成を行う。特に、水環境の再生が喫緊の課題となっており、地域のシンボルとなっている公園池等を対象として、現状分析及び課題抽出を行い、地下水や中水などの導入による水環境再生の実証調査を行う。

また、郊外における水環境として、かつては地域住民の生活と結びつき良好に保全されていた中小河川である「里川」は、近年、流量の減少や湧水の枯渇等により、水域の停留、滞留、生活排水の流入等に伴う水質悪化が見られるようになり、環境、景観、利用等への影響が問題となっており「里川」等の役割が失われつつある。このため、「里川」について、国内外で実施されている先進的な水環境保全取組事例、地域での取組と水環境の改善状況及び過去において存在していた良好な地域と河川等水環境の事例について調査を行う。これらの結果に基づき、地域の特徴に応じた保全活動事例集・保全活動の手引きを策定する。

さらに、先進的な水環境保全活動の事例として、昭和60年に選定した「名水百選」および、本年6月に選定した「平成の名水百選」における保全活動事例を収集し、これらの事例について、名水の種別（湧水、河川等）や地理的条件、地域の規模、活動の内容等を整理・分析し、事例集を作成するとともに、上記のガイドライン等に反映させる。

2. 事業計画

調査項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3
・都市域水辺再生事例実態把握調査			
・環境用水導入の課題抽出検討			
・シミュレーションモデルの作成・解析			
・モデル地域における実証調査			
・都市域水辺再生ガイドライン作成			
・里川保全地域先行事例実態把握調査			
・里川保全手引きの策定			
・里川活動事例ポータルサイトの開発			
・里川モデル地域における取組、調査の実施			
・名水百選事例解析調査			

3. 施策の効果

中小河川の里川や都市域の公園池等の水環境の改善を図り、地域のシンボルとして、また、地域と河川・湧水等の一体性について国民の認識を促し、地域における水環境保全活動の底上げを図るとともに、保全活動と結びついた良好な水環境の実現を図る。

4. 備考

調査費 29百万円 ・水環境再生事業 29百万円

やすらぎの水環境再生事業費

平成20年度「平成の名水百選」の選定
(先進的な水環境の保全活動が
行われている地域を評価)

地域住民の生活と結びつき
保全されてきた「里川」

先進的な保全活動取組事例

都市のシンボルであり、憩いとして
重要である都市域の水辺空間

水環境悪化

- ・[都市水辺]環境用水の導入等の検討、水環境再生の実証調査
- ・[里川]地域での取組と水環境改善状況、過去に存在した良好な地域と水環境の関係
- ・[名水]名水の種別、地理的条件、地域の規模、活動の内容等を整理・分析

事例集・保全活動
の手引き、ガイドラ
イン作成



地方公共団体を通じた
水質改善の実施

ポータルサイトの
開発

モデル地域における取組、
調査の実施



都市域及び郊外において、地域住民による保全活動と結びついた
良好な水環境の実現を図る